

鳥取県初のハイグレード4つ星ホテルが、地域活性を創出します



外観パース



施設配置図

国立公園としての景観形成を大切にします。

建ぺい率を抑えることで、地上部に広い緑地面積を確保し、緑豊かなランドスケープを創出します。2敷地のメリットを活かし、分棟にすることで建物をコンパクト化します。国立公園内施設であることを重要視し、自然に溶け込む色彩計画・素材選定に配慮します。地形に合わせた、緩やかな造成計画とし、圧迫感の抑制を図ります。



1. 施設の企画コンセプトに関する事項

2. 事業の計画性・実現性に関する事項

3. 地域活性化への貢献に関する事項

鳥取砂丘の魅力を引き出し、世界中でここしか体験できない唯一無二のリゾートホテルを計画します。

地元と協調し、経済発展と地域貢献を目指し、持続運営を約束します。

鳥取砂丘東側エリアと西側エリアの連携を実現するネットワークを構築します。

1	既存宿泊施設との相乗効果を生み、競合を避ける施設	外国人富裕層をメインターゲットとした4つ星ホテルブランドにより差別化
2	季節に捉われず、通年集客できる施設	砂像展示スペースやバンケットルームなど地域と連携し、安定した集客を確保
3	素通りさせない長期滞在型ホテル	他地域に宿泊してしまう訪日外国人旅行者を呼び込む長期滞在に対応したホテル
4	ここに滞在する魅力を備える施設	国立公園の大自然と一体のデザイン温泉の整備による魅力ある施設
5	世界に「鳥取砂丘」をアピールする施設	既存施設と連携し、長期滞在者が鳥取砂丘を体験する拠点となる「仕掛け」の整備

砂丘ミーティングの実施
設計初期段階に、砂丘関係者・地元企業関係者とのワーキング「砂丘ミーティング」を開催し、関係事業者と協議・連携し、鳥取砂丘ならではのホテルを作り上げる体制とします。



砂丘センター見晴らしの丘やビジターセンター・砂の美術館など観光施設が並ぶ東側エリアと、子どもの国や柳茶屋キャンプ場など、アクティブな施設が並ぶ西側エリアとの観光連携を図ります。そのために、ホテル宿泊者・西側エリア利用者が東側にアクセスできる2次交通のネットワークを整備します。ホテルに設置する砂丘コンシェルジュがネットワークの案内を担当します。

- A シャトルバスの整備**
東側と西側エリアの移動手段として、ホテルが運行するシャトルバスを計画します。
- B レンタサイクルステーションの整備**
敷地内に市営のレンタサイクルステーションの設置を検討します。
- C 小型EV充電スペースの整備**
民営の小型EV事業と連携し、電気自動車充電スペースの設置を検討します。



安定的な人材確保
運営会社は複数のホテルを運営しており、直接雇用体制により、各ホテル間で従業員の異動を行い、安定的に「経験豊かな人材」を確保します。運営会社の体制に合わせ、外国人スタッフをホテルブランド独自のホスピタリティ教育プログラムから確保し、更に地元雇用を積極的に行います。

地元雇用	+
外国人スタッフ	+
プロフェッショナル	+